

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

自治体名	長崎県長崎市
自治体の概要 主な特色 PR ポイント	長崎市は、江戸時代には海外に開かれた唯一の貿易・文化の窓口として、近代以降は海運国日本を支える造船業を主として栄え、国際社会の中で重要な役割を果たしてきました。 昭和 20 年 8 月 9 日には原子爆弾による惨禍を被りましたが、戦後は核兵器廃絶と世界恒久平和を訴える国際平和文化都市としての役割を果たしています。 長崎市のまちのつくりは非常にコンパクトで、市内中心部では都市部の暮らしができ、車で 1 時間圏内には海や山などの自然もあります。企業で働きながら週末は海や山で遊ぶ。仕事として漁業や農業にチャレンジする。景色がいい所でカフェをする。いろいろなライフスタイルで暮らしている方がいるまちです。 ◆ 人口：385,105 人(推計人口。令和 7 年 4 月 1 日時点) ◆ 面積：405.9 km² ◆ 年間平均気温：17.3℃(最高 37.2℃、最低-1.7℃) そんな長崎市は今、100 年に一度と言われる進化の時を迎えています。MICE 施設、恐竜博物館が 2021 年に完成し、2022 年度には西九州新幹線の開通と新しい駅も開業し、さらに 2024 年度には、プロサッカーチーム、V・ファーレン長崎のホームスタジアムを中心とするスタジアムシティも開業しました。変化しているのはまちのかたちだけではなく、若い人が新しい事業や活動を立ち上げる動きも生まれています。 そんな長崎市にぜひ滞在してみませんか？  
アクセス方法 (参考経路)	羽田空港 → 飛行機 (2 時間) → 長崎空港 → 電車 (40 分) 長崎駅 計 2 時間 40 分

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

主な地域課題	長崎市では、人口減少や少子化を要因として、地域経済の縮小、各種産業の担い手不足、地域コミュニティの希薄化など様々な課題を抱えています。 例えば、水産業については、 ・従事者が高齢化する水産業においては、担い手不足や労働力不足に対応し、持続可能性を高めていくことが長年の課題となっています。 ・漁獲量の変動、燃油高騰等により安定した経営が難しく、漁業就業希望者が少ない中でも、収入増加や働き方改革を図るとともに、水産系の高校や大学がある利点を活かし、水産関連事業所への就職に結びつけるなど、人材の確保・育成、生産性の向上といった課題に積極的に対応していく必要があります。 また、長崎港・街の中心部を山々が囲み、地形的な制約から平地が少なく、斜面地に家が建ち並び、市街地が形成され、「坂のまち」と言われており、地域住民の高齢化が進む中、日常生活の不便さを解消するため、斜面地における住環境整備の取組みを行うことが課題となっています。																								
受入時期	8月下旬～12月中旬（体験プログラムにより、時期が異なります）																								
ワーケーションプログラム内容	中心市街地を拠点とし、企業ニーズに応じた地域体験活動を交えたワーケーションを実施します。2泊3日～3泊4日程度で実施を想定しており、午前、午後でワークと地域体験活動を分けるなど、それぞれの時間を確保し、メリハリのある滞在計画を組み立てます。 【滞在例】 <table><tr><td>1日目</td><td>午前</td><td>移動</td><td>東京 → 長崎市</td><td>午後</td><td>体験・意見交換 等</td></tr><tr><td>2日目</td><td>午前</td><td>ワークタイム</td><td></td><td>午後</td><td>地域体験活動</td></tr><tr><td>3日目</td><td>午前</td><td>ワークタイム</td><td></td><td>午後</td><td>地域体験活動</td></tr><tr><td>4日目</td><td>午前</td><td>ふりかえり</td><td></td><td>午後</td><td>移動 長崎市 → 東京</td></tr></table> 【地域体験活動例】 体験例はあくまでも一例です。協議・調整のうえ、実施します。 ※一部有料メニューがあります。 1 斜面地に関する地域体験活動 (1) 斜面の空き地・空き家の活用事例の視察・体験 斜面地の空き地を市民農園「さかのうえん」として活用している事例の現地レクチャーと農業体験、斜面地の空き家活用の事例の視察、管理者との意見交換など (2) 斜面地の洋風住宅群の視察 東山手・南山手洋館群など外国人居留地時代の洋風住宅群の視察など (3) 斜面地に関する整備事業の現地視察 「斜行エレベーター」「斜面市街地の住環境整備」「車みち整備事業」など斜面地ならではの整備事業の現地視察 (4) 自治体職員等との意見交換	1日目	午前	移動	東京 → 長崎市	午後	体験・意見交換 等	2日目	午前	ワークタイム		午後	地域体験活動	3日目	午前	ワークタイム		午後	地域体験活動	4日目	午前	ふりかえり		午後	移動 長崎市 → 東京
1日目	午前	移動	東京 → 長崎市	午後	体験・意見交換 等																				
2日目	午前	ワークタイム		午後	地域体験活動																				
3日目	午前	ワークタイム		午後	地域体験活動																				
4日目	午前	ふりかえり		午後	移動 長崎市 → 東京																				

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート



2 水産業に関わる地域体験活動

- (1) 魚類養殖海上いけす見学・えさやり体験、カキ養殖作業見学など
三方を囲む海と自然に恵まれ、多種多様な漁業、養殖業、水産加工が発展し、長崎市における重要な基幹産業となっている水産業の現状を学び、体験する。
- (2) 自治体職員等との意見交換



主な対象事業者	業種問わず
受入上限数	1 回 10 名以内（希望の体験プログラムによって人数を調整させていただきます）
未就学児の子ども受入	【可・不可】
事業者に期待すること	・企業独自のリソースやツールを活用しながら、長崎市の課題解決へ向けた活動へご協力いただきたい。 ・ワーケーションとして長崎市にきていただき、もう少し長期間滞在してみたいという方には二地域居住検討など長崎市との接点を増やしていただきたい。 ・サテライトオフィスの開設や企業進出をご検討いただきたい。 ・参加される方には、えさやり体験や農業体験を通じて楽しかったこと、体験中に感じた長崎市の魅力などを家族や社員の方へ広めていただきたい。
留意事項	・荒天のため、開催中止となる場合や体験できないプログラムがあります。 ・必要に応じ、傷害保険へご加入ください。

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

	・体験料 1人あたり 3,000 円～20,000 円程度 その他食費等実費相当額 (体験プログラムによって金額が異なります) ・プログラムによっては、レンタカーが必要となる場合があります。
--	---